これからの「正義」の話をしよう

著者名	マイケル・サンデル	発行年	2010年
出版社名	早川書房	ページ数	380ページ
値段	2,300円	ISBN	978-4152091314
コメント	今期のトップランナーは、旬な哲学書で。 破綻した銀行に公的補助は必要？ のような事例から、ベンサムやらロールズやら、判断のよりどころとなる思考体系へといざなってゆく手法が絶妙。哲学の高い峯のはずなのに、名案内人のおかげでするする登れてしまう、みたいな。 がっつり取り組んでも実りは多いけれど、ここは濫読道場。 ぱっと開いて具体的な事例を探す →自分だったらどう判断するか30秒だけ考える →解説を読んで自分は功利主義者かリバタリアンか判断する というつまみ食い法も有効です。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
シン ☆☆☆☆	哲学って難しいけど、考えるのは楽しい。具体例が豊富で、自分も考えながら読み進めることができた。サンデル教授の意見も知りたかった。哲学にも一つの答えを求めてしまうのは理系なのかな。			
	1-380	100P (60分)		2011/02/13 22:03:37
っ ☆☆☆☆	こういう類の本をいつも毛嫌いしてしまうのだが、この本は自分が読んでても読みやすいと思った。			
	1～55	55P (45分)		2011/02/08 00:13:32
GM ☆☆☆	幸福についての観点から攻めていく正義論だった。興味深いが最後まで読むほどにはならなかった。			
	1～140ページあたり	140P (120分)	最初の出だし	2011/01/27 17:12:12
トトロ ☆☆☆☆	世間でこれだけ騒がれている本なので読んでみました。 普段、普通に生きていれば考えないようなことについて 考えさせられました。			
	1-380	380P (150分)		2011/01/12 17:05:06

ローズ ☆☆☆	結構、読んだ部分はあたりさわりのないものが多く、話題の書ときいて期待していたため少し期待外れでしたが、 一番興味をもったのは、五人の命を救うために他の一人を犠牲にしてもよいのかというものでした。 最も多くの人が助かる様にするというより、最も多くの人がやむおえなかったと納得するようにするのが正義なんじゃないかと思いました。			
	28-39,51-63,101-108,214-216,270-275	42P (45分)		2010/12/27 20:50:49

３９ ☆☆☆	授業で扱った内容を改めて読んでみて、正しいことを選ぶのはやはり難しいなと感じました。迷った時は自分を信じようと思いました。			
	9-43	35P (30分)		2010/12/20 12:47:30

◎個歩櫓 ☆☆☆	具体的な例があって、実際に自分がどう考えるかがわかった。 自分と違う正義の考え方があって、最後まで読めた。			
	9-345	336P (300分)		2010/12/06 23:34:42

てるてる ☆☆☆☆☆	授業でも扱ったので入りやすかったという要因もあり正義についてよく考えられました。学問はそれぞれどこかでつながっているもので、いろんな分野を統合して正義にむかって進みたいと思いました。			
	9-61	53P (60分)		2010/11/18 16:33:12

ほんま ☆☆☆☆☆	他の人が評価するだけあって面白いです 哲学っていえるのかよくわかんないけど分かりやすい！			
	1-380	380P (300分)		2010/11/09 12:40:13

Layla ☆☆☆☆☆	非常に興味深いものだった。 全てが納得できる話ではないし、正義という言葉の概念が私や私を取り巻く人達のものとは随分違って馴染みずらいものであった。 しかしながら、正当性という意味でのJusticeからは多くのものを学んだ。正当性をもたせるために曖昧さを無くすという姿勢はこれからの政治において絶対に必要なことだろう。 根本的な理論からの論証に必要な能力が自然と養われる素晴らしい本だ。			
	1-135	135P (100分)	74-77	2010/11/09 08:46:16

草食系 ☆☆☆☆	授業で興味をもって読んでみました。たくさんの事例が紹介されていてそれだけでいろんな知識がつきます。難しいと感じる人は事例のとこだけ読んでも面白いと思います。			
	1-140	140P (120分)		2010/11/02 15:24:37

hawks ☆☆☆	哲学の入門書としては非常にわかりやすい。語れるようになりたい人におすすめ。			
	1-380ページ	380P (130分)		2010/11/01 00:23:08

sky ☆☆☆☆	様々な事例が紹介され、それについての様々な考え方が書かれている。何が正義なのかよく考えさせる本でした。			
	つまみ食い	50P (60分)		2010/10/28 18:47:10

Gee ☆☆☆☆	とってもスマートな本だなって思います。 ただ、テレビでやってる方が、議論がつがつだから面白いかも、です。			
	1-150	150P (200分)	55-58	2010/10/26 10:59:29

ユウレイ ☆☆☆☆☆	いろいろな考え方を学べて楽しいです。普通の哲学書と違っていろんな例があってわかりやすいです。誰にでも理解でき、哲学を身近に感じることができました。			
	1-174	174P (120分)	最初	2010/10/15 20:42:04

alice9 ☆☆☆☆	従来の自分にはなかった「哲学」に「幸福、自由、美徳」から始まるフレームワークを持ち込む姿勢。 このフレームワークがなければ、本来”正解”のない問題たちとの対峙はよいトレーニングになる。			
	1-380	380P (60分)		2010/10/13 14:58:16

TOPへ

超訳 ニーチェ

著者名	フリードリッヒ・ニーチェ	発行年	2010年
出版社名	ディスカヴァー・トゥエンティワン	ページ数	232ページ
値段	1,785円	ISBN	978-4887597860
コメント	ページからページへ、哲人の遺した232のメッセージを旅するうちにどこかで「ヤラレタ」とうならされる言葉に出会えるはずです、きっと。 ヤマムロの「ヤラレタ」ポイントは40ページでした。ぐさり。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
マッシュ ☆☆☆☆	普段の生活の中でも、はっと、させられる格言に出会えた。			
	1-100	100P (30分)		2011/02/26 11:08:50
hawks ☆☆☆☆	はやっていたので読んできました。 売れるだけのことはあると思います。深い。			
	全部	232P (120分)		2011/02/14 17:28:32
囲 ☆☆☆☆☆	話題となったときに購入し、気持ちを切り替えたいときなどによく読んでいる。そのときの気分や状況によって、心にくる文章が違ってくるのが面白い。各章ごとにテーマがあるので、気に留まったところだけみるのも全然ありだと思う。これだけ現代にも精通してるって、やっぱりニーチェの哲学はすごい。			
	全部	232P (150分)		2011/02/14 07:02:23
tts ☆☆☆☆☆	センター倫理に出てきたのでチラ見しました。			
	1-50	50P (30分)		2011/02/13 18:28:13
みっちゃみちゃ ☆☆☆	すらすら読めた。たまにドキッとする時もあったが、ほとんどが普通なことだと思ったので自分はまだまだなのかと思った。			
	1-50	50P (25分)		2011/02/11 16:42:22

化学バカ ☆☆☆☆☆	いろいろな言葉が１ページずつに。通して自分が感じたのは、ポジティブに生きること、自己愛を忘れないことが「人生を最高に旅せよ！」も鍵なのかもとかんじた。 自分のツボは５章。友についての格言が書かれている。決して友達関係に悩んでいるという訳ではないが、人生で一番大切なものを見直した気がする。			
	すべて	232P (80分)	五章	2011/01/31 11:05:36

GM ☆☆☆	この本は、実は分かっているような事を改めて短文にして伝えてくることで、今一度見つめ直すきっかけになります。自分としては、愛と尊敬とは同時に貰えないということを再確認させられました。			
	1〜52、112〜175	115P (45分)	12、169	2011/01/31 10:44:35

ns ☆☆☆☆☆	素晴らしい言葉がたくさんあり、感動した。先生と同じように自分も40にはぐさりときました。 「少しの悔いもない生き方を」必ず成し遂げたいです。			
	1-232	232P (50分)	すべてのページ	2011/01/27 15:29:21

Gee ☆☆☆☆	疲れたときは、みんな眠ろう。 心のなかがもやもやしたときは、睡眠が一番。			
	1-232	232P (240分)	最初と愛のセクション	2011/01/22 18:16:34

tomato ☆☆☆☆	ニーチェなどというと現実離れした思想を繰り広げているのかと思っていたけど、全然そんなことなかった。むしろ現代に当てはまりすぎていて怖かった。本質的なことは変わらないのだなあと思った。 自分の考えていたことをニーチェも書いていてほっとしたり、意外な見方を与えてくれてはっとしたりした。			
	1-232	232P (60分)		2011/01/19 00:55:28

トトロ ☆☆☆	受験で倫理を選択してニーチェについては少しは知っていたので読んでみました。 ためになった部分もありましたが、私には理解を超えている部分もありました。			
	1-232	232P (232分)		2011/01/12 17:09:01

草食系 ☆☆	別に大したこと書いてないような… たまには「深い」がある			
	ところどころ	50P (30分)		2011/01/07 10:10:57

◎個歩櫓 ☆☆☆☆☆	さらさら読めるし、深い言葉に感銘をうける。 必ず、自分の気に入る言葉が見つかるはず。			
	1-232	232P (40分)	全部	2010/11/29 21:43:34

てるてる ☆☆☆☆☆	悩み事があったとき書店で思わず購入してしまった。悩みがすべてきれいに解決！・・・なんてことにはならなかったが、いろんな糸口をいただきました。			
	すべて	232P (120分)		2010/11/18 16:27:02

Layla ☆☆☆☆	ハッとした！！ 誰か悩んでるやつがいたら、「とりあえずこれを読め！！」っとすすめて上げたい本です。			
	1-232	232P (120分)	25	2010/11/15 23:56:04

ユウレイ ☆☆☆☆	ニーチェの深い思想がうかがえます。現代の生活にも応用できる格言集だと思います。			
	40	40P (20分)	どこからでもいい	2010/11/06 12:52:08

美形のbluejean ☆☆☆☆	何か養老孟司っぽいニーチェ。いたずらに人の不安を煽るような本ではないので悪い本ではないだろう。読んでて自分がモテない原因の１つがわかった。美形のやられたゾーンは愛についてのところ。			
	全て	232P (80分)	114	2010/10/29 23:02:24

ko ☆☆☆☆	所々、とても考えさせられるフレーズがあった。ニーチェの哲学は、時代を軽々と越えているという印象を受けた。			
	1-232	232P (150分)		2010/10/20 00:44:58

sky ☆☆☆☆☆	232個の言葉によって自分を見つめ直すことができ、元気な気分になれる一冊でした。			
	全部	232P (180分)		2010/10/17 23:50:22

ＴＯＰへ

アダム・スミス

著者名	瞠目卓生	発行年	2008年
出版社名	中公新書	ページ数	283ページ
値段	880円	ISBN	978-4121019363
コメント	今さらアダム・スミス？ そう、今だからアダム・スミス。 こんなにカタいつくりだけれど、経済本いちばん人気。 ご存知「神の見えざる手」は決してメカニカルな自由競争システム礼賛ではなくて、人間と社会に対する深い信頼と洞察に裏うちされたものなのですと、コチコチの古典をゆっくりじっくり吟味しながら、スミスの意図の深奥へと錘が下ろされてゆきます。 『国富論』の陰に『道徳感情論』あり。 経済イコールお金の動き、そんなカサついた先入観が、いつしかやんわり溶かされて、堅苦しい学問のお話なのに、心なごんでしまう不可思議さ。 ただし！ 濫読にはとてもとても不向きです。叡智の女神は根気よく扉を叩く者にしか微笑みません、少なくともこの本の場合は。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
ns ☆☆☆☆	経済を勉強している身でありながら、読んでいて自分の知っているアダム・スミスに関連する知識が「神の見えざる手」のみであったということが少し恥ずかしかったです。			
	1-156	156P (60分)	16-22	2011/01/27 14:42:28
ぽぷひむにゃ ☆☆☆	単語が難しいので理解するのに時間がかかって途中であきらめてしまった。また一年後くらいに読みたい一冊。			
	1－120	120P (150分)		2011/01/11 13:01:08
◎個歩櫓 ☆☆☆	アダム・スミス。「見えざる手」以外のことは知らなかったに等しい。 本を二冊しか出していないのに有名なのはすごい。			
	1－283	283P (120分)		2010/12/13 23:52:08
Layla ☆☆☆☆☆	今まで読んできた経済学の本と少し毛色の違う本であった。しかし、そのコントラストが私をより虜にした。「昔の経済の発展は植民地政策にあり！！」では、今のもっとも有効な経済政策はなんなんだろう？？			
	1-265	265P (150分)	8章	2010/11/30 12:42:29

幼虫 ☆	初めきちんと理解しながら読もうとしたけど、時間がかかりすぎたので諦めました。僕には難しかったです。			
	1-69	69P (90分)		2010/11/09 02:34:25

美形のbluejean ☆☆☆☆☆	東工大には経済原論、経済史の授業がないので少しでも補うために読んだ。本書一、四、五章は複雑な数式を扱うわけではなく、特に一章では哲学的な内容があり、経済学を学んでいる者もいない者も、本書を読むことで今後の学習の理解や履修選択に役立つだろう。			
	3-69,143-177	102P (120分)	31-33	2010/10/13 23:10:39

alice9 ☆☆☆	重い。初めて見る単語には、一つ一つの概念の理解まで時間がかかるだろう。まずは「共感」から。			
	1-297	297P (60分)		2010/10/12 17:58:04

TOPへ

使える！経済学の考え方

著者名	小島寛之	発行年	2009年
出版社名	ちくま新書	ページ数	224ページ
値段	777円	ISBN	978-4480065094
コメント	ハルサーニの定理がやっと分かったよと某ゲーム理論家の先生。山室はアマルティア・センに少し近づけた気が。 そんなふうに巨人たちのエッセンスをコンパクトに届けてくれる一話完結入門講義の赴きです。「法哲学」のおともにも最適。 例題、解いてみる？「ピッチャー１杯分のビールを、形の異なるグラスを持ったｎ人に公平に分けるには？」 早くしないと泡が消えちゃうよー。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
なすび ☆☆☆☆☆	経済学をわかりやすく、数学的に説明してくれる本。だからといって数式の詰め込みでの説明じゃない、いい意味で感覚的な経済学の本。少し経済学の見方が変わります！			
	第５章以外	210P (300分)		2011/01/18 03:11:05
シン ☆☆☆☆	自由や平等な社会とは何か。自明のことのようで、考えれば考えるほど難しい。この本は数学を用いてその答えに近づかせてくれる。			
	すべて	224P (60分)		2010/12/09 23:40:12
美形のbluejean ☆☆☆☆☆	限界効用逓減の法則に関する非常にうまい説明、ビールの分配やベンザム＆ピグーの定理等、美しい定理や方法論が見られたことに感動した。			
	7－52	46P (45分)		2010/11/10 12:21:51
幼虫 ☆☆☆☆	勉強ではなく、趣味として経済学に触れたので、気軽に読めたし逆に理解が深まった気がする。			
	1-224	224P (180分)	88-	2010/11/09 02:25:33
けに ☆☆☆☆	ミクロ経済の良い復習。しっかりとミクロ経済をやっていた人には最初のほうは退屈かもしれない。（自分には丁度良かった）サックリ読めたりするところがあったり、理解に時間がかかるところもあったりした。			
	すべて	224P (360分)		2010/11/02 06:39:48

てるてる ☆☆☆☆	経済を勉強してると数学を扱った説明はわかりやすい、または今更と思うところがあるが、「自由」というものに対してどう考えるかとても勉強になった。			
	7-112	106P (150分)	88-110	2010/10/26 15:59:14

◎個歩櫓 ☆☆☆	ミクロ経済学の知識の補完になる。 数学の有用性が分かった。			
	012－092	80P (75分)	030－032	2010/10/26 00:15:38

alice9 ☆☆☆☆	教授の持っているテーマ「公平性」を「幸せ」という切り口でまとめられているところに一貫性があって良い。数式まで落とし込むあたりはモノを伝える立場として見習いたい。			
	1-224	224P (30分)		2010/10/13 12:48:10

ぽぷひむにゃ ☆☆☆☆	内容は若干難しめな印象。でもとっつきやすさがあるのは不思議。 身近な事象に対して経済学的に考察することで経済学とはどういう学問なのかを教えてくれる。 一度は聞いたことのある有名人のルーツを紹介してくれているのも面白かった。			
	1-110	110P (120分)		2010/10/12 22:44:03

TOPへ

ヤバい経済学/超ヤバい経済学

著者名	スティーヴン・レヴィット&スティーヴン・J・ダブナー	発行年	2007年
出版社名	東洋経済新報社	ページ数	379ページ
値段	2,000円	ISBN	978-4492313787
コメント	行動経済学系の本のなかでも、人ひとりの行動でなく、社会全体の構造をマナイタに乗せて料理しているところが特徴です。犯罪の発生率の劇的減少を中絶の合法化から説明する、というように。 ひとつのテーマの掘り下げがそこそこ深くて、あまりコマギレでないのもGOOD。そして、語り口の軽やかさは、さすがベストセラー。 リリースされたばかりの、超ヤバい続編もどうぞ。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
マッシュ ☆☆☆☆	導入部分くらいしか読めなかったが、面白い。裏側に興味をひかれる。			
	1-50	50P (20分)		2011/02/26 11:10:30
よい ☆☆☆	経済学は、直感でははかれないということでしょうか?			
	1-18ページ	18P (15分)		2011/02/14 10:10:25
tts ☆☆☆☆☆	導入部しか読んでないですが、経済学と思えないほどおもしろかった。			
	1-20	20P (15分)		2011/02/13 20:01:24
けに ☆☆☆☆	最初の中絶と犯罪の話は驚いた			
	1ー53	53P (30分)		2011/02/10 03:04:57
みおすけ ☆☆☆☆	極端だなーって思った。実際に子育てはしたことがないけど。			
	第5章	38P (30分)		2011/02/09 08:37:22
tk ☆☆☆☆	この本を読むと結局正しいことなんて何もないように思えてくる。			

	101－127	28P (30分)		2011/01/28 14:32:05

っ ☆☆☆☆	中絶の合法化が犯罪率を激減させた、相撲の八百長をデータで証明するなど、経済学と聞いてイメージする内容とは程遠い、身近なテーマを経済学・統計学的手法で分析していて、堅苦しくなかった。			
	1～78	78P (60分)		2011/01/23 18:04:43

Gee ☆☆☆☆	カジュアルな文章で、読みやすい。 経済学も含めてだけど自分が興味をもったことを、 とことん研究するってやっぱり、楽しいのかも。			
	55-100	55P (60分)	第三章	2011/01/22 18:20:49

◎個歩櫓 ☆☆☆☆	面白い話題ばかりで読みやすかった。 しかし、言いたいことがよく分からないところもあった。			
	1－257	257P (340分)		2011/01/10 23:49:01

ユウレイ ☆☆☆☆☆	ＫＫＫがつぶれた理由はスパイがスーパーヒーローもののアニメに情報を流出したからだというステートメントにに私はひとり爆笑した。 情報の非対称性というのはこうやって解消されるのかと感心するのみだった。			
	1-100	100P (120分)	全部	2011/01/10 07:11:01

sky ☆☆☆	例が具体的でユニークなものが多かった。読む時間があまりなく、つまみ食い程度にしか読めなかったが面白かったです。ただちょっと難しいところもある。			
	つまみ食い	40P (60分)		2010/12/13 22:52:41

シン ☆☆☆☆	題名通りにヤバかった。扱ってる題材がおもしろかった。身近な現象の裏側を見せてくれた。			
	1-407	379P (300分)		2010/12/09 23:34:13

幼虫 ☆☆☆☆	全部読みたくなったが、時間が足りなかった。			
	19-60	42P (30分)	33-35	2010/12/07 12:46:20

Layla ☆☆☆☆	経済学の本をたてつづけに読んでいるせいか、段々飽きてきてしまっている。。 しかしながら、この本は非常に面白い。出版年が私が読んだ経済の本より多少古いので、ちょっと物足りなく感じた。。			
	1-171	171P (80分)	106-114	2010/11/30 12:36:52

hawks ☆☆☆☆	後付で理由をつけるのは経済学と同じだが、切り口が新鮮で飽きさせない。いい話のタネにもなるかも。			
	超1-400	400P (120分)		2010/11/01 00:28:47

美形のbluejean ☆☆☆	統計学を使ってイカサマ見破りは痛快。 また犯罪率減少の話は読んでて「ヤバいって」と思った。			

	1-59	59P (45分)		2010/10/21 23:23:56

ローズ ☆☆☆☆	ゲーム理論などで実験として調べて出たデータは、実験者にみられていると意識して人間が影響された結果であり、現実を反映したものとは違うなど、数値でも安易に信じないようによびかけている本です。そうすると、本当に経験より学説のいうことの方が正しいのか疑問になってきます。			
	1～70 123～207	154P (50分)		2010/10/15 17:46:02

alice9 ☆☆☆☆	題材が面白い、ギャング、なんてアングラな研究をしているんだw 飾らない語り口調だからこそ理解が深まる一冊。			
	1-407	407P (120分)		2010/10/12 12:12:17

TOPへ

経済は感情で動く

著者名	マッテオ・モッテルリーニ	発行年	2008年
出版社名	紀伊國屋書店	ページ数	302ページ
値段	1,600円	ISBN	978-4314010474
コメント	こちらはイタリア仕込みの行動経済学。話題はほかの本ともかぶるけど、トピックごとにていねいに解説してあるのがメリット。 楽しい実験例が豊富なので、ついつい呑み会などで話したくなるけれど、度が過ぎてウザがられないように。これを「後悔回避 regret aversion」と申します。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
マッシュ ☆☆☆☆	授業でやった本だったのでなんとなーくイメージはわかったが、経済は難しいと改めて感じた。勉強せねば			
	1-100	100P (30分)		2011/02/26 11:03:49
SH ☆☆☆	授業でやったので、それがおもしろかったので読んでみた。 あるあるネタがあると読んでておもしろいけど、そうでないものはいまいち納得できなかった。			
	1-100	100P (240分)		2011/02/15 01:29:23
tts ☆☆☆☆☆	あまり納得できないところもあったが経済学の本としてはとっつきやすそうだった。			
	1-50	50P (30分)		2011/02/13 20:04:46
ほんま ☆☆☆	経済学にもいろいろあるんですね。 個人的には無差別曲線とか数式をいじってた方が楽だなぁ。			
	1-100	100P (200分)		2011/02/13 18:09:44
なすび ☆☆☆☆☆	最初に問題をだしてそのあとに心理的な解説をしてくれるから理解しやすかった。数字上の経済学じゃない、行動経済学っておもしろいと思える一冊			
	全部	316P (405分)		2011/02/12 14:03:08

っ ☆☆☆☆	今までの自分だとかなりとっつきにくい分野だったが、読んでみると意外と読みやすかった。			
	1〜50	50P (60分)		2011/01/23 17:26:43

ゆっくり ☆☆☆☆	読みやすかった。ただ、たまにアレ？って思うこともあった。 でもほとんどは納得出来る内容だったから面白かった。			
	1-104	104P (100分)		2011/01/18 10:48:09

historians ☆☆☆☆	自分にとって経済学は難しく、取っつきにくい印象があったのですが、この本に載っている経済学は真逆で、たいへん面白かったです。もう一度、経済学を頑張ってみようと思いました。			
	1〜100ページ	100P (90分)		2011/01/13 11:46:00

シン ☆☆☆☆	実験例が多くて、自分ならどうすると考えながら楽しく読める。論理的に物事を考えていると思っていたが、かなりの部分で感情や直感で判断していることに気づかされた。			
	1-316	302P (120分)	20-46	2010/12/09 23:55:32

sky ☆☆☆☆	普段目にする統計データって、そのデータをゆっくりじっくり考えてみると最初の印象と変わるかも・・・。行動経済学・・・面白い！			
	1-260ページ	260P (420分)		2010/12/05 16:06:52

草食系 ☆☆☆	行動経済学の入りとしては面白いが、途中で入る問題が共感できない。あと章ごとにある教訓のところがたまに本文と全く違う事書いてて意味不明。なんかイチローの話題とか出てたから、訳者が勝手につけ足した？			
	1-110	110P (120分)		2010/11/30 23:42:56

てるてる ☆☆☆☆	皆さんがコメントしている通り例にあまり共感はできないかも・・・。けど感情という人間に必ず存在する不確定要素をどう御していくのか大切なことが書かれていると思います。あと個人的には今までの経済の常識である自由主義を推し進めてきたアメリカではなくそれに対してずっと疑問を呈してきたヨーロッパの本というのが見逃せない点かと。			
	13-83	71P (120分)		2010/11/09 20:04:58

ぽぷひむにゃ ☆☆☆	Geeさんと同じくあまり賛同できない選択肢が多くてちょっと「ん？」ってなりました。筆者がイタリア人ということが由来してると思いますが。ただ、ケースによってお金の価値が変わるように、国籍によっても価値観が変わるんだということもわかってよかったです。			
	1-150	150P (120分)		2010/11/09 13:00:25

◎個歩櫓 ☆☆☆	読みやすく、面白かった。 経済学の本という堅苦しいイメージは 持たないほうがいいと思う。			
	13-136,219-314	656P (200分)	300-306	2010/11/02 01:29:26

みっちゃみちゃ ☆☆☆☆☆	読んでみるまで気付かない。 感情やそのときの状況によって、選択の違いに改めて驚いた。 じっくりと読みたい一冊でした。			
	13-218	206P (70分)		2010/11/02 00:01:03

美形のbluejean ☆☆☆	選択式のテストはあんまり当てはまらない部分が多いかも知れない。まぁ、そういう時はイタリア人がアホだとでも思っておけばいいんじゃないか。結構心理学的な説明は納得できるものが多くてそれに関してはおもしろかったと思う。			
	137-213	76P (100分)		2010/10/29 23:10:24

Gee ☆☆	読みやすいです！ ただ、、、本書では「ほとんどの人はAかBならAを選択する。」的なテストがたくさんあるのですが、僕はほとんど逆の答えを選んでいて、あまり共感できなかったです。客観的にみれれば良いのかな、と思います。			
	1-150	150P (120分)	55-58	2010/10/26 10:52:06

けに ☆☆☆☆	経済学は数学だけで成り立っているわけではなく、心理学の要素多く含んでいると感じた。具体例が多く分かりやすいが、もともと外国の本なので、日本語が多少ゴチャゴチャしてたような気がした。			
	1-110	110P (90分)		2010/10/26 05:17:39

Layla ☆☆☆☆	「たまたま」と少しかぶっている部分も見受けられたので、よりよく理解できました。日常によくある勘違いを複数取り上げているので、とてもためになった。 確かに、8000円と9000円の差は大きく感じるが、199000円と198000円の差は、それほど大きく感じない！同じ1000円なのに。。			
	1-94	94P (120分)	66-68	2010/10/25 22:24:24

幼虫 ☆☆☆	具体例が多すぎて飽きた。 最初と最後だけ読めば十分だったと思う。			
	1-104,138-184,220-279,300-316	228P (150分)	300-316	2010/10/19 23:13:41

ローズ ☆☆☆☆	人々の選考の傾向、アンカリング効果、サンクコストの過大視など、なんとなく自分に身についている考え方が客観的にとらえられる本。			
	1-94,105-118,195-210,234-261,300-313	166P (60分)		2010/10/17 00:28:12

alice9 ☆☆☆☆	行動経済学のおさらい（基本概念）からはいって、複合的なケーススタディまで入っている一冊。			
	1-316	316P (120分)		2010/10/12 12:13:25

ns ☆☆☆☆	かなり面白いです。ただ、自分にとっては、難しい用語や表現が多く読むのが少し難しかったです。行動経済学って名前は聞いていたけども、ミクロ経済学の考えとはまるで違うのだなとこれを読んで思った。			
	1-88ページ	88P (45分)	71-72	2010/10/12 09:48:07

TOPへ

予想どおりに不合理

著者名	ダン・アリエリー	発行年	2008年
出版社名	早川書房	ページ数	314ページ
値段	1,800円	ISBN	978-4152089793
コメント	小ネタのオンパレード、あたかも回転寿司の如し。 オレってどうしていつも締め切り直前にしか始められないんだろ、とか、ダメカレだからさっさと振っちゃいたいのに、なんで見切りを付けられないのかしらん、とか、日頃のあなたの不合理行動を実験ですっきり証明してみせます。 なんだ、みんなそうなんだと安心できるかもしれないけれど、だからって問題を解決してくれるわけじゃないのね。 そこが行動経済学のウィーク・ポイントと見た！		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
baritaro ☆☆☆☆	読み進めていくと、今まで自分の感じたことのある疑問、不合理がたくさん紹介されていて面白かった。ただ理屈がわかったところで、おそらく自身の行動にはあまり影響しないだろうと思うとよりおかしい。			
	1-263	263P (120分)		2011/02/15 01:17:27
ほんま ☆☆☆☆☆	あるあるネタ集 読んだ後も同じ事をしちゃう、そんな不合理 反省はするけど後悔はしないみたいな			
	140-200	70P (120分)		2011/02/13 18:18:58
つ ☆☆☆☆	コメントを参考に5章だけを読んでみたが、とてもおもしろかったのでぜひお薦め。			
	5章を中心に	30P (60分)		2011/02/08 00:19:27
トトロ ☆☆☆☆	例がたくさんあり、想像しやすく読みやすかった。			
	1-200	200P (120分)		2011/02/04 02:37:56
化学バカ ☆☆☆☆☆	行動経済学の本・・・といわれると難しい気分がしていたのですが、「これよくある」みたいな感じの内容が大半でした。 ５章の実験はなかなか衝撃的でした。ただ、人間ってやっぱ状況に応じて予想できない判断になってしまうんだなと感じました。			

	1,3,5,10,13章	130P (100分)	5章	2011/01/28 14:51:23

マッシュ ☆☆☆☆	自分にあてはまることが多くて笑ってしまった。			
	覚えてません	150P (100分)		2011/01/26 21:52:57

みおすけ ☆☆☆☆	確かに！って思う身近な、そして不合理やネタばかり。想像しやすいのでとても読み易かった。行動経済学って面白い。			
	4章、5章	50P (60分)		2011/01/24 19:47:56

みおすけ ☆☆☆☆	確かに！って思う身近な、そして不合理やネタばかり。想像しやすいのでとても読み易かった。行動経済学って面白い。			
	4章、5章	50P (60分)		2011/01/24 19:47:00

em ☆☆☆	なるほどね、っていう微妙な納得が。でもやっぱり不合理なことは腑には落ちませんよね。悩みたいときにどうぞ！			
	読みたいとこだけ！	75P (90分)	どこでも	2011/01/18 22:35:02

みっちゃみちゃ ☆☆☆☆	目次を見て、無意識に真っ先に５章を読み始めた自分がいた。 付録もついていて読みやすいし好きな一冊です。			
	131－260	130P (60分)		2011/01/17 22:30:28

tk ☆☆☆☆☆	例がなかなか面白い。絶対正しい合理的な判断なんてありえないということがよくわかる一冊。			
	1 - 110	110P (30分)		2011/01/12 16:22:44

ぽぷひむにゃ ☆☆☆☆	語り口調が面白いのですらすらよめる。 内容が面白いだけに表紙のデザインがちょっと気にかかった。			
	1-300	50P (30分)		2011/01/11 12:50:47

ゆっくり ☆☆☆☆	例があってわかりやすい。ただ例がありすぎたので、ある程度は読みとばすと良いかも			
	285まで	150P (150分)		2010/12/20 21:02:50

草食系 ☆☆☆☆	経済は感情で動くより読みやすかった。時間がなくてまだまだ読み足りないので20冊クリアした後にでもまた読みたいです。			
	1-130	130P (120分)		2010/12/14 04:19:03

sky ☆☆☆☆☆	人間の行動をこんなにも見透かし、かつ論理的に説明できるとは・・・面白すぎ！！学生を対象とした実験を多用していて具体的で分かりやすい！また語り口調も欧米な感じで気軽に読みやすい！			
	全部	282P (360分)		2010/12/13 22:46:35

シン	人間の不合理さが身にしみてわかる。人々が無料に魅せられる理由がおもしろかった。			

☆☆☆☆	1-345	314P (180分)		2010/12/09 23:44:05

◎個歩櫓 ☆☆☆☆☆	面白い。この一言に尽きる。自分の考え方がこんな風になっているのかと分かる。全部読み切れなかったので次の機会に続きを読みたい。			
	9-233	224P (280分)	104-130	2010/11/29 21:49:46

てるてる ☆☆☆☆	前回の授業でも少し扱いましたがアンカリングについて「確かに」と頷くことばかり。まだまだ読めてない部分があるのでとりあえずの目標２０冊に到達したらまた続きを読みたい。			
	9-82	74P (120分)		2010/11/04 02:10:15

Layla ☆☆☆☆	行動経済学の本を読むと必ずトベルスキーとカーネマンの話しが出てきますが、この本にもでてきました。 この本ので面白かったのは、人の感情という合理性だけでは上手く説明できないことに焦点を当てていることです。性的衝動というような、人間の第一次的欲求についてまで書いてあるのに驚きました。			
	1-210	210P (150分)	141-147	2010/11/01 23:13:29

tomato ☆☆☆☆	人々が陥っている不合理な錯覚に目をつけた本。 消費者としても、生産者としても、ここに書いてあるような ことを頭にいれておくとよいかと思う。 でも、もう最初からだいたい予想はできてて、 説明がちょっと長くて少しいやだった。			
	1-90 180-220	130P (100分)		2010/10/29 21:51:42

alice9 ☆☆	この本と向き合う機会をあたえてくれた教授に感謝 アンカー、ハーディング、Free!、架空の所有意識、扉の影響力、恣意的予測、プラセボとその未熟性、見栄、w もれなく高収益型ビジネスモデルの原動力になっている			
	1-345	345P (120分)		2010/10/12 12:14:43

ＴＯＰへ

行動経済学

著者名	依田高典	発行年	2010年
出版社名	中公新書	ページ数	239ページ
値段	819円	ISBN	978-4121020413
コメント	ちょっとカタめの入門書。 コンパクトな説明は類書のほうが達者かもしれない。でも、153ページからのアディクションの話で、喫煙者と非喫煙者では、どんなふうに時間選好のとらえかたが違うのかをしっかり実験結果から炙り出してくるところは、結論は常識的だけれど、そのプロセスが興味深かった。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
leo ☆☆☆	固いのも読んでみようかと思って読んでみたけど、 やっぱ固くて難しかった。 理論は所詮理論というか、社会科学の実用性って怪しいですね…			
	1-40	40P (30分)		2011/02/15 04:57:53
けに ☆☆☆☆	文章固いけど、専門でやってることの本はやっぱ面白い			
	1ー239	239P (180分)		2011/02/14 04:16:22
Layla ☆☆☆☆	「時間」 この言葉と経済とを結びつけるのは、私にとって非常に意外だった。人の境遇、言い換えれば経済的地位でこんなにも人は経済的な「時間」に対する概念が違うのかと驚いた。 「割引率」という概念は非常にすごいものだ。これは確かに使える。我々は時間にまつわる概念から離れられないのだから。			
	1-144	144P (200分)	48-95	2011/01/10 17:36:46
シン ☆☆☆☆	人の感情をどのように数値化してモデル化していくかが詳しく書いてあって、とてもわかりやすかった。「厳密に間違っているよりは大ざっぱに正しい方が役に立つ」という言葉が印象的だった。			
	1-242	239P (60分)	108-111	2010/12/09 23:51:07
	理論経済学が大好きなので肩身の狭い思いで読んだ。理論がおかしいのか人間がおかしいのか、理論がおかしいならどの仮定を正すべきか、人間がおかしいならどのように合理性を促すかというこ			

美形のbluejean ☆☆☆	とを考えながら、経済学に関わっていきたいと思った。			
	1－37	37P (45分)		2010/11/10 12:30:06

幼虫 ☆☆☆☆	喫煙に関する話は個人的に興味深かった。 こういう堅い本も嫌いじゃない。			
	1-242	242P (150分)	145-190	2010/10/19 23:20:32

ユウレイ ☆☆	あんまりおもしろくなかった。重要な情報が得られないような気がします。			
	1-40	40P (30分)	はじめ	2010/10/19 06:56:25

alice9 ☆☆☆	手堅い行動経済学の入門書			
	1-242	242P (60分)		2010/10/12 12:17:37

TOPへ

ブラック・スワン 上・下

著者名	ナシーム・ニコラス・タレブ	発行年	2009年
出版社名	ダイヤモンド社	ページ数	526ページ
値段	1,800円	ISBN	978-4478001257
コメント	7つの魔法のコトバで世界を変えてみせましょう。 「ブラック・スワン」と「七面鳥」、「月並みの国」と「果ての国」、「ベル・カーブ」に「マタイ効果」に「プラトンの性（さが）」。杖をひとふり、えいっ、さあどうだっ!! 比喩の巧みさ、問題の本質を突くするどさと知的ユーモア。統計学のお勉強のかたわら、どうぞ（ニヤリ）。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
tts ☆☆☆☆☆	導入部分に興味をひかれた。たったひとつの例外というのがおもしろい。			
	1-30	30P (15分)		2011/02/13 20:21:31
tomato ☆☆☆☆	死者は何も語らない、生きている者は自分の都合のいいようにつじつまを合わせて語る。そう簡単にいろんな事を信じてはいけないと思った。			
	186-222	36P (20分)		2011/02/11 23:14:46
けに ☆☆☆☆☆	現実世界を予測することは難しい。 だから、やりがいがあるのだが。			
	1-121	121P (100分)		2011/02/10 05:21:11
てるてる ☆☆☆☆	予想外のことの中には予測できるわけないこともたくさんあると頭では分かっているのに、世の中はなんで予測できなかったんだと責めることばかりしているのだろうか。批判ばっかりうまくなっちゃって・・・			
	全部	526P (360分)		2011/01/18 19:52:53
Layla ☆☆	この本は見渡す限り白い白鳥しかいなかった。 見つかるとしたら、黒く塗られた白鳥だけだろう。			
	1-185	185P (120分)		2010/12/21 09:18:28

alice9 ☆☆☆☆	なにかパニックが起きたときに、「ブラックスワンをわすれるな！」が伝わればなんて幸せな世界なんだろう！			
	1-298、1-336	634P (240分)		2010/10/12 12:20:49

TOPへ

たまたま

著者名	レナード・ムロディナウ	発行年	2009年
出版社名	ダイヤモンド社	ページ数	321ページ
値段	2,100円	ISBN	978-4478004524
コメント	冗談みたいなタイトルだけど、ランダムネスという強敵と大マジメに格闘した科学者たちの果実です。あんな法則、こんなワナ。索引から攻めるのもアリな網羅性がお得ポイント。 そうそう、68ページの３つのドアの選択問題、東工大生38名にトライしてもらったら正答率18%でした。たまたま？？		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
なすび ☆☆☆☆	統計学のとある先生も授業で薦めてた本 とりあえず、期間内に読んだところを登録させてください。第一章だけだと、まだ「パネェ！」とは思えなかった			
	第一章	38P (30分)		2011/02/14 16:17:38
tts ☆☆☆☆☆	なんかよくわからなかった。			
	35-64	29P (15分)		2011/02/13 20:29:07
シン ☆☆☆	直感と理論が異なることが多い確率の問題。偶然か必然かを見極めるためにこの本は参考になった。			
	1-321	321P (120分)	67-	2011/02/06 23:23:49
ぽぷひむにゃ ☆☆☆☆	事例がたくさんのっていたので、面白そうなところからつまみ食いしてみた。当たり前だと思っていることが実はそうではないということや奇跡だと思っていることが実は結構簡単に起きてしまうんだということを知れて普段はちょっと敬遠している統計学も結構面白いんだな、と思った。			
	1-300	150P (120分)		2011/01/18 16:32:24
tomato ☆☆☆☆	世の中のありとあらゆる現象の背後には、確立の理論が隠されているが、たいていの人はそれに気づかず、大きな誤解をしてしまっていることが多い、というような内容。 意外と確立の世界は複雑で難しそうだなあと思った。 でも学ぶ価値はけっこうありそうな気がした。			

	1-91,123-156,217-249	150P (90分)		2011/01/11 00:48:18

ローズ ☆☆☆☆	人は並外れた事象には並外れた理由を見出しがちだが、本書では大した理由もなくたまたま誰かに素晴らしい出来事が起こってしまう確立の大きさを説明している。 自然現象に勝手に自分の都合を加えて解釈するため、私も含め多くの人が昔からずっと信じていることでも、確からしくないことは多々あるのかもしれないと思うと面白かった。			
	1-34,123-156	68P (80分)		2010/12/26 16:52:49

美形のbluejean ☆☆☆☆☆	確率論に関する具体例、特に確率に対するよくある誤解から、確率・統計に関する歴史とこれからの世界まで語られる。７章以前で自らの無知を恥じることとなり、８章以降で世界観を変えられた。特に318-319ページでは、１年間の浪人生活の末に東大に落ちた友人や野球少年時代の私自身を思い出し、泣いた。社工生として読むなら、８章だけ読めば十分。あとはおもしろ半分に７章以前を読むとか、深めの話の入り口に立ちたければ９，１０章を。全体を通して英語独特の皮肉や例えを無理矢理直訳した部分が目立ち少し残念。またタイトルももう少し大胆にというか、せめて「偶ま」くらいにはしてほしかった。ただその点を差し引いても、本書の持つ魅力は最初の２文で記した通りである。			
	全て	321P (300分)	287-289	2010/10/20 00:55:02

alice9 ☆☆☆	翻訳能力が低くて残念。 How Randomness Our Lives.			
	1-321	321P (120分)		2010/10/12 12:28:10

Layla ☆☆☆☆☆	かなり興味深い話しがいくつかあったので、時間があったらまた読みたいです。 あえて文句をつけるなら、本の名前がださい！！ それに、「たまたま」という名前はあんまりあってない。			
	1-117	117P (150分)	84-91	2010/10/12 12:17:54

ＴＯＰへ

プライスレス

著者名	ウィリアム・パウンドストーン	発行年	2010年
出版社名	青土社	ページ数	399ページ
値段	2,520円	ISBN	978-4791765287
コメント	ねだん、というものの不思議。いくらなら売りますか、いくらなら買いますか。刻々と変動する複雑精妙なるコミュニケーション・システム。 これって結局、プライスという指標を用いて人間社会の不条理なおもしろさをあぶりだす営みではないかしらん。経済学の根底に、そんな思想まで深読みしたくなったりします。 まあ、そんなかしこまらずとも、58ページの円筒形と碁盤の目のトリックだけでも、ぜひ。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
マッシュ ☆☆☆☆	一定レベルの刺激に順応してから、その基準からの変化をとらえるということをいろいろな実験をするという面白い話。可愛く見られるためにはブスと友達になればいいらしい（笑）女こわい			
	60-64	5P (15分)		2011/02/01 12:15:54
ns ☆☆☆☆	なんで？すげー！			
	58	1P (2分)	58	2011/01/27 17:58:10
tk ☆☆☆☆	ふしぎ！			
	58	1P (1分)		2011/01/27 08:57:03
みおすけ ☆☆☆	内容は興味深かったけど、難しい。 でも、人間の心理って単純で、価格なんて何にでもなりそうって思った。			
	全て	399P (240分)		2011/01/24 04:35:23
ローズ	価格コンサルってずる賢い！ でも、ずるく思えても、アンカリングや誘因効果についてのお話が出版物としても世に出回る程よく使われる手法になっているようなので、ずるいのが悪いと言ってもいちいち取引を無効にできるわけではなく、知らずに罠にひっかかってしまう方に問題があるということになるのだろうなあと思ってしまいました。			

☆☆☆☆☆	プラダでさえ誘因効果を使っているというのには驚きました！			
	11-30,41-53,65-69,201-225,241-260,264-289,305-318,371-378	131P (150分)		2010/12/27 00:47:34

ほんま ☆☆☆☆	感動はプライスレス			
	1-100	100P (120分)	58	2010/10/19 13:36:33

TOPへ

大相撲の経済学

著者名	中島隆信	発行年	2008年
出版社名	ちくま文庫	ページ数	237ページ
値段	680円	ISBN	978-4480424280
コメント	相撲協会とは、これすなわち250年も続いている格闘技ビジネスのシステムなり。 実力主義なのに年功序列。神とも崇められているはずの貴重な横綱の給料はたった282万円。年寄株に八百長と数々の特殊性に彩られたこの相撲産業を経済学の視点で分析すると、さてどうなるか。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
トトロ ☆☆☆☆	最近、よくニュースで大相撲が八百長などで取り上げられているので読んでみることにした。 今まで全く知らなかった大相撲の仕組みについて知ることができた。			
	1-237	237P (120分)		2011/02/10 04:33:43
つ ☆☆	大相撲をいつもテレビなどで取り上げていないような視点から本書は語っていた。最近、八百長だの賭博だのであまりいい印象がなかったが、この本をきっかけに違う角度からもアプローチしていきたい。			
	1～48	48P (40分)		2011/01/30 23:39:12
ns ☆☆☆☆	普段見ている相撲をこういった視点でみるのもありだなと思った。 知らない相撲用語がたくさんあって、かなり勉強することができました！！次の夏場所（春場所かも）楽しみだな。			
	1-165	165P (70分)	153-154	2011/01/27 15:19:27
sky ☆☆☆☆☆	大相撲・・・普段ニュースで見るけど角界の制度について何も知らなかった。大相撲について基本的な事から詳しく書かれているから大相撲に興味がわいた！！相撲についての知識が増えたから相撲を楽しく観れそうです！			
	全部	267P (360分)		2010/12/05 16:00:24

TOPへ

生物と無生物のあいだ

著者名	福岡伸一	発行年	2007年
出版社名	講談社現代新書	ページ数	260ページ
値段	740円	ISBN	978-4061498914
コメント	ダイナミック・イクイリブリアム＝動的平衡。この着眼から社会というものをとらえてほしくて、リストに加えました。分子レベルで見た私たち生命体は、外界から隔てられた個物ではなく、たまたま密度が高いだけの分子のゆるい淀みに過ぎず、しかも絶えず高速で入れ替わっているそうな。生きているとは、いつも中身を入れ替え続けているということ。 「秩序は守られるために絶え間なく壊されなければならない」 そうなのか！ 興奮しました。これは生命体の理解だけでなく、社会や組織といった「人のあつまり」を理解するときにも使える、と。そんなふうに生命体の話としてでなく、社会や国家に応用できないかと虎視眈々たるスタンスで臨むと、社会工学的にも実り多いかと思います。第９章だけでもぜひ。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
トトロ ☆☆	タイトルに惹かれて読んだが 途中で飽きてしまった。			
	1-60	60P (70分)		2011/02/14 10:48:24
ns ☆☆☆☆	生物を専攻していない自分にとって、難しい内容だったが、生物と無生物をどのように見分けるかという、テーマがとても面白かったです。星四つです。			
	1-186	186P (80分)	29-44	2011/01/27 15:53:38
化学バカ ☆☆☆☆	この本はかなりヘビーでした。ただ、理系、特に化学系の自分は呼んでおこうかなと思いました。 高校のころ生物系に進みたい気持ちもあったので。 化学を学んでいると読みやすいところがいくつかあります。８章はＤＮＡの分子について、シュレディンガーが出てきたり原子の話が出てきます。			
	1-11章	180P (600分)	8章	2011/01/26 19:26:15
つ ☆☆☆	全部読むには相当体力が必要だと思う。興味をひかれるタイトルだが、実際読んでみると生物学的知識のない人がこの本を読んで理解できて、面白いかは疑問。			
	第9章	15P (8分)		2011/01/23 18:10:23

ほんま ☆	タイトルには興味を惹かれたけど・・・			
	1-31	31P (15分)		2011/01/21 08:39:03

３９ ☆☆	呼んでいて苦痛なほど難しかったです。			
	第３章まで	55P (60分)		2010/12/20 12:49:17

leo ☆☆☆☆	個人的には、割と興味がある内容だったので読めた。 途中は実験の話などでマニアックなので、 最終章のあたりを読んだらいいのではないかと… 有機化学や生命の知識がないと頭から読んでも退屈だと思う…			
	9章、14章、15章	54P (40分)	15章	2010/12/14 20:53:25

つばくろう ☆	頑張って読んではみたものの睡魔に襲われた。興味のない分野の専門的な本ほど眠くなるものはないだろう。			
	all	260P (240分)		2010/11/02 00:42:19

美形のbluejean ☆☆☆	かなり面白いことを書こうとしていることは分かるが、文章がわかりづらい。「珠に瑕」で済まされるレベルですらないと感じた。			
	135-186	52P (60分)	147-149	2010/10/23 01:34:26

なすび ☆☆	多分３行でまとめられる			
	第９章	15P (5分)		2010/10/21 05:30:26

alice9 ☆☆☆	自分にはこの本をしっかり読む忍耐がなかった。。			
	1-260	260P (30分)		2010/10/13 16:00:16

ＴＯＰへ

動的平衡

著者名	福岡伸一	発行年	2009年
出版社名	木楽舎	ページ数	240ページ
値段	1,524円	ISBN	978-4863240124
コメント	『生物と無生物の間』が新事実満載の気合いの入ったパワフル講義とするならば、こちらは同じ事実を踏まえつつも、ぐっと気さくな炉端トーク。だから、『生物と無生物の間』のイントロダクションとしても、逆に余韻を楽しむかたちでも行けます。 生命は分子の淀み。なんてユニークで魅力的な世界観。クセになりそう。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
みおすけ ☆☆☆☆	勧められたので、手にとりました。 気になる「ダイエット」に関して（笑） 論理的に書かれているので、納得させられました。			
	第３章	30P (30分)		2011/02/09 08:51:28
３９ ☆☆☆☆	ダイエットのとこだけ読みました。時間が出来たらもっと呼んでみたいです。			
	第４章	20P (30分)		2010/12/20 12:52:08
Layla ☆☆☆☆☆	自分の興味のある世界なのでとてもためになりました。 最初の章での、アメリカの大学の資金獲得の仕組みを読むと、この国の大学研究のレベルの高さがなんとなくわかる。彼らはいつも競っている。			
	1-251	251P (200分)	113-116	2010/11/30 12:46:22

TOPへ

共感の時代へ

著者名	フランス・ドゥ・ヴァール	発行年	2010年
出版社名	紀伊國屋書店	ページ数	318ページ
値段	2,310円	ISBN	978-4314010634
コメント	本のつくりはイマイチです。おカタそうで、イラストも地味で。 でも、がっつりと動物行動学最前線。頭からかじらず、気ままに拾い読みをどうぞ。 立ち読みポイントは、サルもすなる最後通牒ゲーム！ さて、どこでしょう。目次で探してみてくださいな。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
tk ☆	興味がなかった。			
	1-15	15P (5分)		2011/01/27 08:54:26
てるてる ☆☆☆☆	あくびが伝染するという件はその事実に思わず共感しながらも感心しました。			
	71-122	52P (60分)		2010/11/18 16:35:18
Layla ☆☆☆☆☆	これからの世界を考えさせられる話である。 人間の世界が闘争のみで成り立っていたら、どうしようもなく寂しくて辛いものだろう。 助け合いという当たり前のことが当たり前にできないのは人間だけなのかもしれない。			
	1-19	19P (10分)	17-18	2010/10/18 22:15:37

TOPへ

地球のハローワーク

著者名	ナショナル・ジオグラフィック	発行年	2009年
出版社名	日経BP社	ページ数	333ページ
値段	1,900円	ISBN	978-4863130722
コメント	表紙の写真に一目惚れ。 人生の豊かさとか、地球の広さとか、めんどーなコリクツなんて、どうでもいい。パラパラめくって運良く「一目惚れ」に出会えたらこの本はあなたのものです。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
囲 ☆☆☆☆	普段きれいな風景写真くらいしかみない自分にとってはかなり新鮮であり、同時にいろいろと考えさせられる１冊だった。大変そうな環境の中でも人々の顔は希望に満ちている感じがした。			
	1-333	333P (20分)		2011/02/14 07:08:43
草食系 ☆☆☆	仕事の写真というより、普通に異国の景色を見るのが好きなので楽しめた。風景の写真とかはよくあるけど。			
	1-335	335P (60分)		2011/02/10 15:03:55
トトロ ☆☆☆☆	自分の生活の周りの環境がとてもせまく感じられました。 世界中ではこんなにもたくさんの人たちが いろいろな仕事をしていることに感動しました。			
	1-333	333P (60分)		2011/02/10 05:22:56
化学バカ ☆☆☆☆☆	けっして美しい写真を集めている訳ではない。大半の写真には人間が写っていて、そうでなくても人間の営みの見えるような写真ばかりである。世界中に人って生きているんだなって実感させられました。 １０２ページの中国／少林寺の写真は感動します。最初なんの写真だかわかりずらいけれど、これだけの子供たちが等間隔に並んで一斉に同じポーズとってると圧巻です。			
	すべて	333P (60分)	102	2011/01/28 13:02:06
	豚に牛に、解体の作業というのはいつ見ても何とも言えない感情がわいてきます。だけど、自分たちの使っている物のもとを辿れば硫黄を取る人もいる訳で、知っておくべきことばかりでし			

GM ☆☆☆	た。104ページを開いたときは、「スラムドッグ・ミリオネア」のワンシーンが瞬間的に浮かびました。			
	1～104	104P (20分)	どの箇所でも開いて欲しい	2011/01/28 12:49:34

ns ☆☆☆☆☆	とても面白い仕事満載だった。 ユーカリノキの生態調査怖そうだけどやってみたいなー。			
	1-333	333P (45分)	146	2011/01/27 15:47:10

マッシュ ☆☆☆☆☆	今バイトではーは一言ってる自分が小さく感じた。世界は広い。いろいろ感じさせられた			
	1-333	333P (200分)		2011/01/26 21:49:26

つ ☆☆☆☆	発展途上国の様子が分かる一冊だったと思う。なんか考えさせられました。			
	1～333	333P (40分)		2011/01/23 17:34:28

tomato ☆☆☆☆	生き方はさまざま。でもみんな共通してるのはどんな手を使ってでも生きていること。			
	1-333	333P (30分)	116-119	2011/01/19 16:17:04

leo ☆☆☆☆	世界のいろいろな仕事の風景が見れて楽しかった。 自分の周りを見るだけでは、見られる仕事は限られていると思った。 旅行に行きたい。			
	全部	333P (50分)	296、324-327	2010/11/19 00:01:10

em ☆☆☆☆	世界一周旅行をした気分です。今度は実際に自分の足でいろいろな所に行きたいと思います。サウジアラビアとエジプトに行きたくなりました。			
	全部	333P (20分)		2010/11/13 14:39:23

ゆっくり ☆☆☆	働くのって大変 ものすごい厳しそうな仕事の割合が多かった気がする			
	1-333	333P (60分)		2010/11/12 20:40:14

tk ☆☆☆	はるか遠くの出来事をあたかも自分が体験したかのように伝えられる写真のすごさを改めてわからせてくれる本			
	1-100	100P (20分)		2010/11/12 16:23:49

ローズ ☆☆☆	限られた人生の中で、色々な場所や人を簡単に見ることができるようになった今ってすごいなぁと思いました。 105ページのシバ神に扮する少女、114ページの物乞いをさせられている赤ん坊などは、不安気な表情がとらえられていて圧倒されました。 サメ狩犬っているんだ！			
	1-333	333P (35分)		2010/11/04 15:48:47

シン	世界は広いなー。人って笑顔が一番だと思いました。			

☆☆☆	1-333	333P (20分)	54-55	2010/10/27 22:13:09

Gee ☆☆☆☆☆	面白いです。一番、印象的だったのは、銃を組み立てる子供たちの写真。 思わず見入ってしまいました。			
	1-333	333P (120分)	1-333	2010/10/26 10:54:33

美形のbluejean ☆☆	発展途上国である程度ちゃんとした暮らしをしている労働者は、ああいう景色が毎日見られるらしい。			
	全て	333P (120分)		2010/10/21 23:17:25

historians ☆☆☆☆	同じ地球でもここまで様々でここまでレベルの違う仕事があるものかと驚かされてしまった。今の時期に読んでおいてよかったと思える１冊。			
	全部	333P (60分)	105ページ	2010/10/19 22:32:38

つばくろう ☆☆	世界中の様々な写真がのってるので、旅行した気分になれた。			
	1-333	333P (10分)		2010/10/14 01:53:08

alice9 ☆☆	インスピレーションを与えてくれる一冊			
	1-333	333P (20分)		2010/10/12 17:45:10

ＴＯＰへ

図書一覧
書籍紹介
読者投稿欄
プロフィール一覧
自己プロフィール
掲示板

最底辺の１０億人

著者名	ポール・コリアー	発行年	2008年
出版社名	日経BP社	ページ数	310ページ
値段	2,310円	ISBN	978-4822246747
コメント	ボトム・ビリオン。世界がかかえる危険なダークサイド。 そこに、データ分析に基づいた政治学で斬り込む。できごとを観察して叙述する従来型スタイルではなく、所得水準と内戦の起こりやすさとの関係、資源の多寡と政権の透明度との関係などなど、各国の諸要素を変数と置いて統計化し、慎重に緻密に、相関関係や因果関係をあぶりだしてゆく。 へぇぇ、こんなことができるんだ、とそのユニークな太刀さばきにひたすら見入ってしまう。地味なつくりの本だけど、方法論と結論の両方がきっちり書かれているのもマル。 熱いスピリットとクールな分析。まさに社工のめざすかたち。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
電算室のPC換えてくれ ☆☆	なんか難しくて読みにくそうだったからやめた。でもタイトルは面白そうだし、いつかまたチャレンジするかも。。			
	最初だけ	6P (5分)		2011/02/14 17:28:25
つ ☆☆☆	データを多く用いた、抽象的分析と提言が述べられていた。それも、全体的にきわめて冷静な、ある意味では冷酷な分析だったと個人的には思った。			
	1～100	100P (150分)		2011/01/30 23:32:39
化学バカ ☆☆☆	貧困大国アメリカ→アフリカレポート→２０円で世界をつなぐ仕事 の流れで手に取ったのですが、この本は重量級だった。 自分は上澄みの１０億人くらいにおよそ入るだろう。そんな自分の生活の影にあたる部分が彼ら。 ある意味私たちは彼らのことを一番知るべき立場ですね。			
	4章まで	105P (200分)		2011/01/27 19:49:09

ＴＯＰへ

物乞う仏陀

著者名	石井光太	発行年	2005年
出版社名	文春文庫	ページ数	341ページ
値段	650円	ISBN	978-4167717919
コメント	石井光太の視線は、正視するに耐えないものも鋭くえぐってゆく。25歳、6000ドルを握りしめて成田から出発して、カンボジア・タイ・ベトナム・インド……。 救いのない現実の連なりに暗然。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
よい ☆☆☆	スラムドッグミリオネアという映画を思い出しました。ノンフィクションなんですね。筆者の行動力に驚きました。			
	286-308ページ	22P (20分)		2011/02/14 10:18:47
シン ☆☆☆	貧困地域の現状を細かく書いてある。著者の熱い気持ちが伝わってくる。			
	1-48 286-341	104P (40分)	気になった国	2011/01/19 23:02:32
っ ☆☆☆	東南アジアからインドまで、貧困の最下層といえる「物乞いをする障害者」のルポであり、それぞれの障害の特徴から厳しい貧困、戦争の傷跡、マフィア達の犯罪など、グロテスクな事実を次々と記していて日本の豊かな現状の違いを痛感した。			
	1-86	86P (60分)		2010/11/18 16:46:47

TOPへ

絶対貧困

著者名	石井光太	発行年	2009年
出版社名	光文社	ページ数	272ページ
値段	1,500円	ISBN	978-4334975623
コメント	石井光太さん。同じ著者の本が続きますが、私たちがおそらく一生関わらずに「済む」（←この２文字をゴチックとして読んでください）であろう世界を、ここまで深く、たしかに、かつ明確な主張とともに届けてくれる書き手さんを他に知りません。 山室的立ち読みポイントは ・45-46ページ メイちゃんのお母さん ・145ページ 花売りビジネスモデル ・259-260ページ 売春宿の子供は高学歴		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
化学バカ ☆☆☆☆☆	なかなかヘビーな内容でした。写真付きで解説されてるし、著者の生々しい体験が描かれています。っていうかこの人タフだなぁ。。。 ２０４－２０９は「レンタルチャイルド」という内容。この言葉をみた最初の印象は良い制度なのかも（子供のない人に子供を貸す・・・？）と思ったのですが。実態は貸される子供たちは誘拐された子供。なぜ貸し借りされるかというと、物乞いのため。なんだか悲しくなってしまいます。日本だったらいい制度っぽいんですがね。			
	1-280	280P (60分)	204-209	2011/01/31 11:52:18
tk ☆☆☆☆☆	タイトルからは想像できない内容だった。スラム街というのは一般的には嫌悪の対象であるがそこに住んでいる人は必死に自分の生活を守ろうとした結果であり、生きていくためには仕方のないことなのかもしれない。			
	1-280	280P (80分)		2011/01/12 08:58:10
幼虫 ☆☆☆☆	145ページのシステムは素晴らしいと思う（笑）そこだけ目に止まったから読んでみた。			
	133-151	19P (10分)	145	2010/11/09 03:14:10
シン ☆☆☆☆	貧困について上辺だけでなくリアルな貧困について、笑いを交えながら書かれていて、スラスラ読めます。今の自分にはできることは少ないけど、知ることは大切だと思った。			
	1-286	272P (70分)	133-174	2010/10/27 22:04:30

美形のbluejean ☆☆☆☆	正視に堪えない・・・はずなのについ全部読んでしまう本。毎年日本から出る３万人の自殺者が阿呆に思えてくる。 読んでて暗い気分になったら、260ページの女性に涙するか、もしくは120ページのグラフで笑うとよい。 そして、「お許し下さい。すべては罪深きキリスト教徒が悪いのです」とか言って飲酒するイスラム教徒がいたなんて・・・(笑)			
	全て	272P (150分)	259-260,120	2010/10/21 23:01:07

alice9 ☆☆☆	この本を読んで「自分はなんて俗物なんだろう」と思った。 それが悪いとは思わない。「世界最貧困目線」を彼らの実生活から照らし出している本。			
	1-272	272P (30分)		2010/10/13 16:06:00

ns ☆☆☆☆☆	アジア、アフリカの貧困層の人々の暮らしのひどさが改めて理解できました。シリアスな内容だけでなく、筆者の現地での面白体験のようなものも紹介されています。体験談を中心に話が進んでいくので、ほんとにスラスラ読めます。☆五つです。			
	1-196ページ	196P (120分)	121-129ページ	2010/10/12 09:38:18

ＴＯＰへ

ITとカースト インド・成長の秘密と苦悩

著者名	伊藤洋一	発行年	2007年
出版社名	日本経済新聞出版社	ページ数	228ページ
値段	1,700円	ISBN	978-4532352417
コメント	世界のITを支えつつ、頑としてカースト制度も健在。新旧混交の不思議の国に日本人視点の率直さで迫ります。 ほんとに、どうしてインド人はオリンピックでメダルを取れない（むしろ、取らない）んでしょうね。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
みおすけ ☆☆☆	情報工学科ということもあり、興味があり手にとりました。 読んだ章は格差に関する章だったのですが、発展途上国なのかなーと思わせる感じでした。 子供の教育格差もあり、これからインドはどのように成長していくのかなと思いました。			
	第三章	31P (30分)		2011/02/09 08:56:56
Layla ☆☆☆☆☆	インドに対してあるイメージとはどんなものなのか？ 「驚異的な数学力とカースト」それが私の持っていたイメージだ。私はインドという国が今世界でもっとも未来に希望の持てる国だと信じているが、その内情をしることはなかった。 インド人がカーストを受け入れて、どこか諦めたように生きていたら、こんなことにはならなかっただろう。超カーストとしてのITの存在が彼らの野心を高め、今のインドがあるのだ。激化する競争もその副産物である。 今の日本はどうだろう？いつしか我々は彼らと違って、諦めたように人生をおくってないだろうか？そんなことをやっていれば、この国の終焉も近いきがする。			
	1-240	240P (180分)	48-49	2011/01/25 12:35:55
tk ☆☆☆	高度成長期の日本のような気概が今のインドにはあるのだと思った。			
	1-100	100P (40分)		2011/01/22 11:20:23
シン ☆☆☆	インドでIT産業が活発な理由。カーストと絡めて説明してある。低カーストからのし上がろうとする若者の気迫が伝わってくる。			
	1-228	228P (70分)		2011/01/19 23:05:33
	のりにのっているインド事情を把握しようと手にとった。			

ぽぷひむにゃ ☆☆☆	カーストという日本に住んでいると全くなじみのない制度がなぜ今だに残っているか？その理由が少しわかったような気がする。			
	1-200	150P (120分)		2010/10/13 17:25:27

alice9 ☆☆☆	「ITとカースト」というタイトルを見て、ぱっと題意は理解できなかったが、読み始めてすぐにそれが「泥臭く、蜘蛛の糸のようでもある」ちょっとまえの出来事をまとめた物語だとわかった。 ものすごくドロドロした出来事があったうえで一昔前のインドの成長は成り立っていたのだ。			
	1-228	228P (60分)		2010/10/12 17:54:56

ＴＯＰへ